

# 読者部だより 読者の批判重く受け止め 「ニュース女子」問題

特定のニュースや問題について、同じ趣旨のお問い合わせや要望が多くの方から読者部に相次ぎ、関心が高いと判断した時は、紙面で紹介したり、関連記事を掲載するよう心掛けています。ですが、年明け以来、一ヶ月にわたり連日、ご意見が相次いでいることに、きょうまでお答えしていませんでした。まづ、深くおわび申し上げます。

東京MXテレビの一月二日放送の番組「ニュース女子」に、沖縄県の米軍施設建設に反対する人々を中傷する内容があり、その番組の司会を長谷川幸洋・本紙論説副主幹が務めていたことです。厳しいご批判や、本紙の見解表明を求める声は、読者部にいたいた電話やファックス、メールや手紙だけでも「二百五十分を超えるました。重く受け止めており、きょうの一面に論説主幹の見解を掲載しました。

新聞は、事実に基づいて、本当のことを伝えるのが使命です。編集局では現在、沖縄の在日米軍基地問題を取材するために、社会部や政治部の記者を沖縄に派遣し、ひがしちん東村高江や辺野古などで、住民の方々などの取材を重ねています。近く、紙面でご報告いたします。また、「沖縄ヘイト」問題の本質を問う識者インタビュー連載記事を、きょうから始めました。

沖縄で今、何が起きているのか。本当のことをお伝えする努力を、これからも続けていきます。

(読者部長・榎本哲也)